

- 「電磁波セキュリティを確保するための高感度電磁波測定技術の研究開発」の開始について  
— 仙台高感度電磁波測定技術リサーチセンターの開所 —
  - 平成17年6月1日
- 

独立行政法人情報通信研究機構(理事長:長尾 真)は、平成17年度より高度通信・放送の研究開発の一環として、通信・放送技術の著しい向上に寄与する先導的な「電磁波セキュリティを確保するための高感度電磁波測定技術の研究開発」を行うため、「仙台高感度電磁波測定技術リサーチセンター」を下記の通りに開所し、研究開発を開始しました。  
この研究開発の概要は別紙のとおりです。その成果は、情報の電磁的方式による適正かつ円滑な流通の確保及び増進に資することが期待されます。

今後、本年秋までに施設の整備を行い、本年秋を目処に「ワークショップ(第1回)」を開催する予定です。  
この研究開発は、平成22年3月まで5年間の予定で進めてまいります。

## 記

- 1 開所日 平成17年6月1日(水)
- 2 研究実施場所 仙台高感度電磁波測定技術リサーチセンター  
仙台市青葉区南吉成6-6-3 ICRビル3階

以上

---

### <問い合わせ先>

情報通信研究機構 総務部 広報室

奥山利幸、大野由樹子

Tel: 042-327-6923、Fax: 042-327-7587

### <担当部門問い合わせ先>

情報通信研究機構 拠点研究推進部門

林 義也、伊東紀夫

Tel: 03-3769-6826、Fax: 03-5439-7320

仙台高感度電磁波測定技術リサーチセンター

太田博康 Tel: 022-279-3627

---

**電磁波セキュリティを確保するための高感度電磁波測定技術の研究開発**  
— 仙台高感度電磁波測定技術リサーチセンター —

### 1 研究開発の概要

電子機器からの漏洩電磁波の低減・防止策の立案とその効果の確認のために、放射される微弱で周波数帯域幅の広い電磁波を高感度で正確に測定することを目的として、次の研究開発を行なう。

#### 1. 高感度電磁波測定プローブの研究開発

高周波電磁界測定用電気・磁気光学結晶材料・素子の研究開発と、同素子を用いて微細加工・集積化技術等を用いた高感度光電界・磁界測定プローブの研究開発を行うもの。

#### 2. 高感度電磁波測定技術の研究開発

光電界・磁界プローブからの信号を高感度に検出するための信号処理技術の研究開発と、広帯域で高速な近傍電磁界測定システムの研究開発を行なうもの。

このような技術の完成により、コンピュータ、携帯電話等の電子機器の試作段階において、電磁波の漏洩状況を的確に把握することができ、もって適切な漏洩防止対策の実施に寄与することが期待される。

### 2 研究開発予定期間

平成17年6月1日～平成22年3月31日

### 3 研究体制

プロジェクトリーダー 荒井賢一 東北大電気通信研究所教授を中心に、民間企業等からの研究員の参集により実施する。

